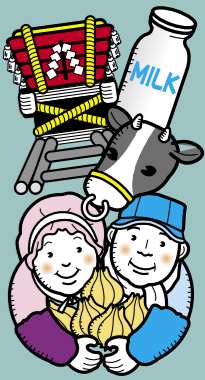


地域の催しや明るい話題などが
ございましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



ずっと変わらず好きなもの



▲今までに描いた絵は100点以上

油絵を描く川畑美津子さん

め、自宅に作品を展示して
います。
幼いころから絵を描くのが
好きだった川畑さんですが、
戦争やその後の生活のために
ゆつくり絵を描く時間が取れ
ませんでした。それでも幼い
姪御さんの絵を見てあげるな
ど、絵が好きという気持ちは
変わりませんでした。

落ち着いてきたころから
油絵教室に通うようになり、
様々な絵を描くようになりま

した。絵にはミシンが入る物
が多く、姪の八木睦子さん(神
代)は「洋裁で生計を立てて
きたので、ミシンを通して自
分自身を描いている」と話し
ました。

気に入った色が出るまで何
度も試行錯誤しながら絵を描
くため、完成までに2、3か
月かかることもあると話して
いました。

自宅だけでなく、色々な場
所に絵を展示することもある
川畑さんは「多くの人に自
分が描いた絵を見てもらいた
い」と嬉しそうに話しました。

異文化交流が生み出した紅茶の和紙

木彫家前田篤志さん

木彫家の前田篤志さん(神
代)が、紅茶の葉をすき込ん
だ和紙を考案しました。和紙
の貴婦人と名付けられたこの
和紙は、紅茶の葉から出た優
しい色合いが特徴です。友人
のヴェジタ・ラクシュマンさ
ん(神代)が経営する料理店
で料理の皿を置くマットなど
に使われています。
以前、悩みを抱えていた時

に和紙作りの風景を見て感動
を覚え、自分でも和紙を作る
ようになりまし。

ラクシュマンさんの店で紅
茶を飲んでいるときに、紅茶
を使った和紙を思いつき、苦
労しながらも、試作品を作り
上げました。

店には、前田さんが彫った
木の置物や和紙と木を合わせ
たインテリアなどが置いてい



▲柔らかな色合いと手触りの
紅茶の和紙

ボランティアによる清掃活動



▲花火大会で出た空き缶やペットボトル、ボ
リ容器などのゴミ収集。全部で850kg集ま
りました

花火大会を続けるために

慶野松原花火大会翌日の7月31日、花火大会で出たゴミの清掃活動
が慶野松原海水浴場周辺で行われました。この清掃活動は慶野松原花火
大会保存会が清掃ボランティアを募集。約300人が集まり午前6時か
ら同海水浴場周辺に散らばったゴミを集めました。

同会の濱口健一会長(松帆)は「毎年たくさんの人がボランティアで
掃除をしてくれる。頑張って掃除してくれる姿を見ると来年も綺麗な花
火をあげようという気持ちになる」と話していました。

全国大会出場

おめでとう

- ◆水泳
 - 森下 翔太さん(西淡志知小)
 - 中本 明希さん(榎利小)
 - 太田 幸希さん(賀集小)
 - 沼田 純作さん(八木小)
 - 増田 達哉さん(八木小)
 - 稲山 夏美さん(三原中)
 - 坂 莉奈さん(三原中)
 - 稲葉仁衣菜さん(八木小)
 - 正木 亜海さん(松帆小)
 - 坂本 絵麻さん(福良小)
 - 別所 玲奈さん(松帆小)
 - 高川 碧さん(福良小)
 - 朝田 朱音さん(松帆小)
 - 野口 晴香さん(市小)
 - 入谷 早咲さん(神代小)
 - 前田 あみさん(福良小)
 - 三宅 渚沙さん(辰美小)
- ◆ボート
 - 伊藤 孝晃さん(柳学園)

伊藤さんは県予選会で優

ストレス発散。割れやすい瓦で瓦割り体験会

大鳴門橋記念館



▲割れる瓦を開発した同製瓦
所の谷池永充さん

大鳴門橋記念館で8月21
日、瓦割りの体験会が行われ
ました。使用された瓦は瓦割

り専用の瓦。谷池健司製瓦所
(津井)で昨年5月に瓦を身
近に触れてもらおうと開発さ
れました。中央に割れ
目を入れるなど、割れ
やすいように工夫して
います。この日は家族
連れやカップルなどが
訪れ、瓦割りにチャレ
ンジしました。谷池大



▲大人から子どもまで気軽に
瓦割りを体験できます

南あわじにチャンバラフォームを巻き起す

スポーツチャンバラ



▲面や足を狙う打ち込みの基本を
教える磯野さん(中央)

西淡社会教育センターで8
月9日、10日にスポーツチャ
ンバラの体験会が開かれまし
た。同スポーツは護身術とス
ポーツを融合させたもので、
発祥の地は静岡県。現在は、
世界中に広まっています。空
気を入れた小太刀や長剣、槍
などを利用し相手の体を先に

打った方が勝ちとなります。
体験会を主催したのは同ス
ポーツで世界大会準優勝の経
歴を持つ磯野順一さん(湊)
です。「道具も軽く、型には
まらないスポーツなので老若
男女が楽しむことができ、参
加しやすいです」と話す磯野

さんは、淡路でも
同スポーツを広め
るため体験会を企
画しました。体験
会に参加した子ど
もたちは20人。打
ち込み方を教えて
もらい、試合形式
での練習を行いま



▲試合形式で練習し、子どもたちはスポー
ツチャンバラの楽しさに夢中となりました

淡路三原高校

7年ぶり全国コンクール出場、そして入選

6月19日に開かれた第58回NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会
で県立淡路三原高校の放送部が優秀賞に選ばれ、東京で7月27～28日に行
われた全国大会に出場し入選しました。作品は約50年前に同校に勤務してい
た名物教諭の槌賀安平さんを題材としたもの。当時の教え子や元同僚の教諭に
インタビューし人物像を浮き上がらせ8分間の番組にしました。

同部の栗島亮菜部長(潮美台)は、「みんなに愛される素晴らしい先生の人
柄を知ってほしいと思い制作した」と話しました。



▲番組は今年3月から6月にかけて制作。インタ
ビューや当時の写真を駆使し、先生の優しさや
愛情の深さがわかる内容となっています

勝し、8月6日から行われ
た全国高等学校総合体育大
会に出場しました。



▲8月2日の中央庁舎の壮行会

◆ビーチバレー

廣岡 雅也さん(神戸学院大)
古川 育美さん(神戸学院大)
廣岡さんと古川さんは
8月7日に行われた全日
本ビーチバレー大学男女
選手権大会に出場しまし
た。ともに健闘し廣岡さ
んは3位となりました。



▲古川さん ▲廣岡さん